

第 1 回防災・防犯部会（R 元. 6. 10）における主な意見

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
1	宮本委員	地域の防災訓練で参加者が固定化してきている。もっと広めるために訓練のやり方を地域、小学校単位から町会単位の小さい組織にすればその町会内で関心を持つ方が増えるのではないか。	地域によっては防災訓練の際に「まちなか訓練」という、町会ごとに公園などの一時避難所に皆さんで集まって、そこから小学校へ避難するという訓練をされているところもある。消防、区役所でもご要望があればそれに沿ったメニューについても協力していきたいと思うので遠慮なくお申し出いただきたい。
2	早野委員	市営住宅の各棟に避難場所と貼ってあるが、備蓄も何もない。何のために貼ってあるのか。	水害の場合は垂直避難ということで高いところへ上がって避難していただく場所を表示しており、避難は長期間続くわけではなく一時的な避難場所という位置づけである。短期間の飲料水等の物資は、自助として日ごろから非常持ち出し袋などに入れて準備をお願いしたい。
3	西口 副会長	市営住宅に空き部屋があるのでそこを開放し災害時の避難場所にできないか。	大阪市の災害ワーキンググループで検討しているが、結論は出ていない。引き続き意見反映をしていく。
4	松原委員	台風やゲリラ豪雨時などの避難に関して、昔は注意報や警報などわかりやすかったが、今は具体的なことがわかりにくくなってきている。区役所から地域に情報提供していただくことはできないか。	水害時、新たに 5 段階の警戒レベルを設定し、今までわかりにくかった避難情報が国において整理された。警戒レベル 1、2 は気象庁が発表し、警戒レベル 3、4、5 は大阪市が発令することになっており、その周知にも努めていくのでそれをもとに判断をお願いしたい。

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
5	宮本委員	<p>防犯カメラの点検は、1年に1回実施する必要があるのか。また、防犯プレートは非常に小さく、抑止効果が低いと思うので、大きくした方がよいのではないか。</p>	<p>防犯カメラの耐用年数は設置状況にもよるが6年程度あるので、点検を行っていただく方がより安心ではあるが、公設置地域管理という点から、地域にお任せしている。なお、作動状況については専門業者以外でも確認方法があるため、随時作動状況を確認していただくことも効果的である。</p> <p>防犯プレートは、サイズを選択できるような取り扱いを含め、抑止効果が高くなるような仕様を検討しているところである。</p>
6	宮本委員	<p>放置自転車対策に取り組んでいるが、駐輪場マップに利用料金を載せることで、安価に利用できることがわかれば不法駐輪が減るのではないか。</p>	<p>駐輪場マップについては、協力をいただける民間駐輪場も含め料金・問い合わせ先等を記載しており、周知を含め引き続き啓発に取り組んでいきたい。</p>